

# 採血基準・問診

採血基準は、献血者等の健康を保護するために定められるものであり、血液法の施行規則により規定されています。その改定を行う場合は、血液事業部会の審議を経て行います。

具体的な要件は表3-1のとおりです。全血採血(200mL、400mL)及び成分採血(血漿、血小板)ごとに、年齢、体重、血圧、血液比重、年間採血量、採血間隔等の要件が定められています。

また、妊娠中の方や、採血により悪化するおそれのある疾患を抱えている方から採血することはできません。

問診では、この採血基準に適合しているかを確認するため、循環器系の疾患等の既往歴についてお尋ねするほか、血液製剤の安全性の向上のため、表3-2のとおり、血液を介して感染するおそれのある疾患の既往歴をお尋ねしています。

現行の問診票は、旧厚生省の血液問題検討会安全性専門委員会で取りまとめられた「輸血用血液製剤の安全性

に関する報告書(平成7年6月)」によるもので、全国的に統一されており、以後、適宜改定が加えられています。

最近では、平成16年8月から、米国等で流行しているウエストナイル熱を含む輸入感染症対策として、海外から帰国後4週間を経過しない方からの採血をお断りしています。また、平成15年6月から、プリオントン感染症(変異型クロイツフェルト・ヤコブ病等)対策として、欧州全域に長期滞在した方からの採血をお断りしており、平成17年6月からは、英国に滞在した方についての措置の強化等を行っています。詳しくは、変異型クロイツフェルト・ヤコブ病対策(24ページ)を参照下さい。

さらに、これまでの輸血や臓器移植を受けたことのある方に加え、平成18年10月からは、プラセンタ(注射剤)を使用している方からの採血もお断りしています。

問診の項目と、項目ごとの意義については、61ページに解説がありますので、ご覧下さい。

表3-1 採血基準

| 採血の種類  | 全 血 採 血  |                                     | 成 分 採 血  |                                   |
|--------|--|-------------------------------------|--|-----------------------------------|
|        | 200mL全血  | 400mL全血                             | 血漿   | 血小板                               |
| 1回採血量  | 200mL  | 400mL                               | 300mL~800mL<br>(体重別)   | 400mL以下                           |
| 年齢     | 注)16歳~69歳  | 注)18歳~69歳                           | 注)18歳~69歳  | 18歳~54歳                           |
| 体重     | 男性45kg以上<br>女性40kg以上   | 男女とも<br>50kg以上                      | 男性45kg以上<br>女性40kg以上   |                                   |
| 最高血圧   |  |                                     | 90mmHg以上   |                                   |
| 血液比重等  | 血液比重1.052以上<br>又は血色素量<br>12g/dL以上  | 血液比重1.053以上<br>又は血色素量<br>12.5g/dL以上 | 血液比重1.052以上<br>又は血色素量<br>12g/dL以上<br>(赤血球指数が<br>標準域にある女性は<br>11.5g/dL以上) | 血液比重1.052以上<br>又は血色素量<br>12g/dL以上 |
| 血小板数   | —  | —                                   | —  | 15万/ $\mu$ L以上<br>60万/ $\mu$ L以下  |
| 年間採血回数 | 男性6回以内<br>女性4回以内   | 男性3回以内<br>女性2回以内                    | 血小板成分採血1回を2回分に換算して血漿成分採血と合計で24回以内  |                                   |
| 年間総採血量 | 200mL全血と400mL全血を合<br>わせて<br>男性 1,200mL以内<br>女性 800mL以内   |                                     | —  | —                                 |
| 共通事項   | 次の者からは採血しない<br>①妊娠していると認められる者、又は過去6ヶ月以内に妊娠していたと認められる者<br>②採血により悪化するおそれのある循環器系疾患、血液疾患その他の疾患にかかっていると認められる者<br>③有熱者その他健康状態が不良であると認められる者 |                                     |  |                                   |

注)65歳から69歳までの人は、60歳から64歳までの間に献血の経験がある方に限られる。

(採血の間隔)

| 今回の採血   | 全 血 採 血          |         | 成 分 採 血         |       |  |  |
|---------|------------------|---------|-----------------|-------|--|--|
|         | 200mL全血          | 400mL全血 | 血漿              | 注)血小板 |  |  |
| 200mL全血 | 男女とも4週間後の同じ曜日から  |         |                 |       |  |  |
| 400mL全血 | 男性は12週間後、女性は16週間 |         | 男女とも8週間後の同じ曜日から |       |  |  |
| 血漿成分採血  | 男女とも2週間後の同じ曜日から  |         |                 |       |  |  |
| 血小板成分採血 | 男女とも2週間後の同じ曜日から  |         |                 |       |  |  |

注) 血漿を含まない場合には、1週間後に血小板成分採血が可能。ただし、4週間に4回実施した場合には次回までに4週間以上あける。

(厚生労働省資料)